

令和5年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立井原高等学校	
実践者等		吉田 源太	実践日 令和5年11月15日
実践場面 <small>(教科・科目(単元名)、学校行事等)</small>		農業と環境 農業生産の基礎	
対象生徒(学年等)		地域生活科1年グリーンライフコース	
育成を目指す資質・能力		<input type="checkbox"/> 知識・技能(技術) <input checked="" type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等 <input type="checkbox"/> 学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	<input checked="" type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input checked="" type="checkbox"/> 思考やデータの可視化 <input checked="" type="checkbox"/> データの共有や共同編集 <input type="checkbox"/> 対話を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 思考を促す活用 <input type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 課題のやり取りと評価の支援 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化や省力化 <input type="checkbox"/> その他()	
	家庭学習	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 探究 <input type="checkbox"/> 反転学習 <input type="checkbox"/> 補習・定着	
実践の内容			
<p>【本時】</p> <p>(1) 本時の目標、授業の流れを確認する。 GAP(※)の知識を基に、校内圃場内の危険な箇所を見つけ、まとめて発表することができる。 ※GAP(Good Agricultural Practice: 農業生産工程管理) 農業を行う時に関連する法律に即した点検項目について、実施・記録・点検・評価し、持続的な改善活動を行うこと。</p> <p>(2) 圃場内の危険箇所を見つけ、Chromebookで写真を撮影する。 圃場を3区画に分け、班(1班7~8人)ごとに担当区画内にある危険箇所を見つける。見つける際には、「このような事故が起きるかもしれない」と予想を立てる。</p> <p>(3) 危険箇所について、Googleスライドにまとめる。 班ごとに、危険箇所の写真データを挿入し、危険箇所に関する説明文を入力する。(共同編集)</p> <p>(4) Googleスライドを用いて、班でまとめた内容を全体で発表し、情報共有を図る。</p> <p>(5) 教師が本時のまとめを行い、生徒は、本時の目標に対する理解度について振り返りを行う。</p>			
			
			
<p><端末を用いて危険箇所を撮影・まとめている様子></p>			
<p>【本時と家庭学習との連動】</p> <p>(本時前) 実施なし</p> <p>(本時後) Googleスライドを用いて、他の班がまとめた内容を確認し、新たな気づきと次の実習で気をつけておく点について振り返る。</p>			